

## 船舶事故調査報告書

平成23年6月23日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 石川 敏 行  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年8月10日（火） 06時00分ごろ～16時50分ごろの間）
発生場所	不明（熊本県宇城市松合漁港～同港の東方約300mの護岸の間）
事故調査の経過	平成22年8月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 親勇丸、0.4トン 293-26337熊本、個人所有 5.26m (Lr) × 1.45m × 0.61m、FRP ガソリン機関、22.07kW、平成4年9月
乗組員等に関する情報	船長 男性 62歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年1月30日 免許証交付日 平成20年9月24日 (平成26年9月21日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	左舷船首部擦過傷、船首部損壊
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成22年8月10日06時00分ごろ、釣りのために松合漁港を出港した。 本船は、帰港予定時刻の09時30分ごろになっても帰らないので、船長の家族が警察に通報し、16時50分ごろ本船が松合漁港の東方約300mの護岸に無人で乗り揚げているところを地元消防団により発見された。 船長は、12日06時24分ごろ地元消防団によって宇城市大野川の河口北岸付近で救命胴衣未着用の状態で発見され、溺水と検案された。
気象・海象	気象（熊本地方気象台）： 8月10日 06：00 天気 曇り、風向 北、風力 2 07：00 風向 北北西、風力 1 08：00 風向 北北東、風力 1 09：00 天気 晴れ、風向 南東、風力 1 10：00 風向 南、風力 3 海象：水温 29℃

その他の事項	<p>松合漁港の1号防波堤（以下「本件防波堤」という。）先端付近の港外側には、本事故後、本船の左舷船首部の塗料と同様な塗料が付着しているのが発見された。</p> <p>本船は、発見されたとき、船首部が消波ブロックに当たって損壊した状態であり、操縦レバーが前進位置で、船外機が停止し、いけすにはスズキ1匹が入っており、船内には救命胴衣がなかった。</p> <p>本船は、船体中央部に操縦スタンドがあり、立って操縦するようになっていた。</p> <p>船長は、ふだん松合漁港南方沖で釣りを行っていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、06時00分ごろ松合漁港を出港後、16時50分ごろ同漁港東方の護岸に無人で乗り揚げていたところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、死亡に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>本船は、操縦レバーが前進位置で松合漁港の東方約300mの護岸に無人で乗り揚げていたこと、及び本件防波堤先端付近の港外側に本船の左舷船首部の塗料と同様な塗料が付着していたことから、本船が松合漁港に帰航中であった可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が松合漁港を出港後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>本事故の防止策として次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣の着用</li> </ul>	

※ 「参考」は、今後の同種船舶事故等の再発防止のために役立つと考えられる事項を列挙したものである。